

2015年1月15日

日本銀行大阪支店

## 記者会見冒頭説明要旨

近畿の景気は、「消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動がみられているが、基調としては緩やかに回復している」と判断しています。

すなわち、公共投資が増加傾向にあるほか、企業部門では、輸出・生産が増加し、設備投資も積極的な計画が維持されています。雇用面では、有効求人倍率や雇用者数が改善傾向にあるほか、名目賃金も改善を続けています。家計関連では、耐久消費財販売と住宅投資は回復が遅れているものの、百貨店販売などが回復を続けています。

こうした中、12月短観における業況判断DIが4ポイント改善するなど、企業マインドは明確に改善しました。もっとも、先行きのDIは全業種で悪化しています。同じ調査での業績予想が増収・増益となっていることを勘案すると、7～9月のGDP悪化や急激な円安・原油安を受けた不確実性の高まりが、かなり保守的な回答につながったものとみています。

以下では、具体的に説明します。

まず、企業部門ですが、近畿の実質輸出（季節調整済）は昨年10～11月、前期（7～9月）比+3.4%と大幅に増加しました。スマホ向けなどの電子部品・デバイスや米国向け建設機械の増加などが寄与しています。

次に、近畿企業の2014年度設備投資は、全産業で前年度比+10.0%と、全国（同+5.5%）と比べても積極的な計画が維持されています。製造業では、戦略商品の能力増強投資に加え、更新投資や合理化投資も活発化しており、全体では前年度比+6.6%の増加計画です。出遅れていた中小製造業の設備投資も前年度比+9.1%の増加に転じました。非製造業では、小売、建設、鉄道、物流など、幅広い業種で増加しており、全体で前年度比+12.1%と積極的な計画が維持されています。

次に、個人消費は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響も徐々に和

らぎつつあり、雇用・所得環境などが改善するもとの、基調としては堅調に推移しています。ただ、好調な領域の明るさが増す一方で、耐久消費財販売は回復が遅れています。好調なのは、百貨店販売、ホテル、外食などで、賃金改善や株価上昇の効果に加え、外国人観光客によるインバウンド消費にも支えられています。また、在阪百貨店の年末商戦と初売りも好調でした。スーパーの売上は、全店ベースでは前年比プラスが続いていますが、既存店ベースでは前年並みとなっています。この間、自動車販売は、季節調整済み販売台数が底を打っていますが、自動車ディーラーの受注状況を見ると、回復度合いにはまだバラツキがみられています。また、家電販売額は前年割れが続いています。

次に、住宅投資については、貸家建築は好調なもの、持ち家や分譲マンションの着工が減少しており、戸建ての受注状況も回復が遅れています。

こうした需要動向のもとで、近畿の生産は一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに増加しています。昨年10～12月は、家電や住宅関連などの一部で在庫調整の影響がみられたものの、スマホ向けなどの電子部品・デバイスの輸出増加に加え、内外の設備機械需要の増加もあって、全体の生産は緩やかに増加する見込みです。

次に、雇用情勢をみると、昨年10月以降新規求人の改善が一服していますが、有効求人倍率は改善を続けているほか、常用労働者数も前年比の伸びを着実に高めるなど、良好な雇用環境が続いています。所得面でも、名目賃金は8か月連続、所定内給与は6か月連続で前年を上回っているほか、冬季賞与も前年を上回る見通しです。

近畿経済の先行きについては、輸出が引き続き緩やかに増加すると見込まれるほか、企業収益が堅調なもとの、積極的な設備投資計画が着実に実行されていくとみています。家計部門でも、企業業績の好調と人手不足感の強まりのもとで、雇用・所得の改善傾向が続く可能性が高いうえ、インバウンド消費の下支えもあって、個人消費が回復の裾野を広げていくものとみています。

先行きの留意点としては、産油国を含む新興国や欧州の経済動向、地政学的リスクといった海外要因が、金融資本市場や当地の輸出に及ぼす影響が挙げられます。また、国内では、建設費の上昇や人手不足などの供給制約が設備投資や住宅投資に及ぼす影響や、急激な市場価格の変動が企業・家計のマインドに及ぼす影響などを、注意深くみていきたいと思えます。

金融面では、近畿の金融機関貸出は、住宅ローンや企業向け融資の増加から、前年比+2%程度の伸びで推移しています。もっとも、企業の手元資金が厚いもとで、資金需要の伸びは緩やかな一方、金融機関相互間の貸出競争は依然として厳しいことから、貸出金利の低下傾向が続いています。

次に、管内地域銀行の上期決算をみると、多くの先で資金利益が減少したものの、信用コストの安定を主因に全先が当期黒字を確保しました。

以 上